

患者の皆様へ

2022年1月25日

現在、泌尿器科では、「泌尿器悪性腫瘍摘出検体を用いた画像的探索」に関する研究を行っています。泌尿器科で癌の診断を受け、手術された方を対象に、診療情報などを利用して頂きます。この研究にご協力いただいた場合でも、患者さんの個人情報公開されることはありません。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

泌尿器悪性腫瘍摘出検体を用いた画像的探索

2. 研究の意義・目的

現在、泌尿器科で扱う癌をはじめとして、様々な科でCTやMRIを含めた画像検査は診断や治療効果の判定に欠かせないものとなってきています。しかし、画像検査だけでは現在では限界があり、今後も正確、精密な診断のために画像検査の進歩が求められています。本研究では摘出された検体の病理学的な検索を踏まえて、さらなる画像検査の探索を目的としています。

3. 研究の方法

当科で泌尿器悪性腫瘍に対し、手術を行われた方の検体、臨床データ（年齢、性別、検体データ、臨床経過、画像データ）を対象とします。前立腺検体の病理診断は、当院病理診断科、愛知医科大学病院病理診断科で評価を行います。データを解析することで使用の適正性や効果について検討します。データの解析・保管は千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学にて行われ、データは個人を特定できないように暗号化された識別番号で扱います。

4. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

本研究は文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り施行されます。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院泌尿器科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院泌尿器科 043(222)7171

医師 坂本 信一、竹内 信善